

目的・概要

**「歩きやすい環境整備」から「歩きたくなるダイナミック都市空間」への  
トランスフォーメーションを共創**

事業主体：慶應義塾大学SFC研究所

【推進体制】

<構成メンバー>

- 学：慶應義塾大学 SFC研究所
- 官：品川区
- 民：特定非営利活動法人まちづくり大井

居住者と来街者、子育て世帯や高齢者など多様な歩行者が共存するスマートな駅まちを目指し、デジタルエリアマップの上で共に学び、調べ、語り合い、誰もが歩きたくなる都市空間を共創する。

取組

NPOまちづくり大井

- ・大井町エリアの居住者・来街者
- ・地元商店、事業者など

品川区

- ・事業推進のアドバイス
- ・区の施策との整合性の調整など

まちづくり先進地域との交流、  
本地域の取り組みを計画・発信

まなぶ

まちづくりの講座を開き、  
幅広く住民や事業者へ  
発信し、学び合う場を  
提供する

しらべる

街中でまちづくりに関連  
するデジタル技術を試し、  
活動に関心のある方を  
誘う

地域主体の街歩き調査により、  
2D&3D街歩きマップの作成・発信

交流と共創  
の場の形成

好循環

区内外への  
情報発信

つくる

まちづくりワークショップを  
通してプロジェクトの実  
践し、共創事業を具体  
化する

みせる

居住者、来街者の動き  
を捉え、人流に関心  
がある事業者等の参加  
企業を巻き込む

開発事業に合わせて、新旧市街で回遊  
性の高い歩行者空間の実現を支援

人流データによる歩行者特性の  
抽出とまちのリズムの見える化

Future City Design School (FCDS)\*の開設

2024	2025	2026
デザインスクールの開設	→	スクールの運営
2D/3Dデジタルデータ基盤の検討	→	スクールの発展
ウォーカブルシティの事例蓄積	→	整備と活用
	→	効果の共創と発信
	→	ウォーカビリティ指標づくり
	→	ウォーカビリティづくりの指針

慶應義塾大学  
SFC研究所

- ・地域に開かれたスクール運営
- ・資金管理と必要な資金・リソースの調達
- ・学生や専門家の研究活動支援

\* FCDS: デジタルエリアデザインを学び、まちづくりの共創を育む場

デジタル技術と地域資源を融合し、人々のウェルビーイング (well being) の創出に資する未来型まちづくりモデルを提示する

※支援期間：交付決定の日から令和9年3月31日まで

事業主体：株式会社ルミネ

【推進体制】  
<構成メンバー>

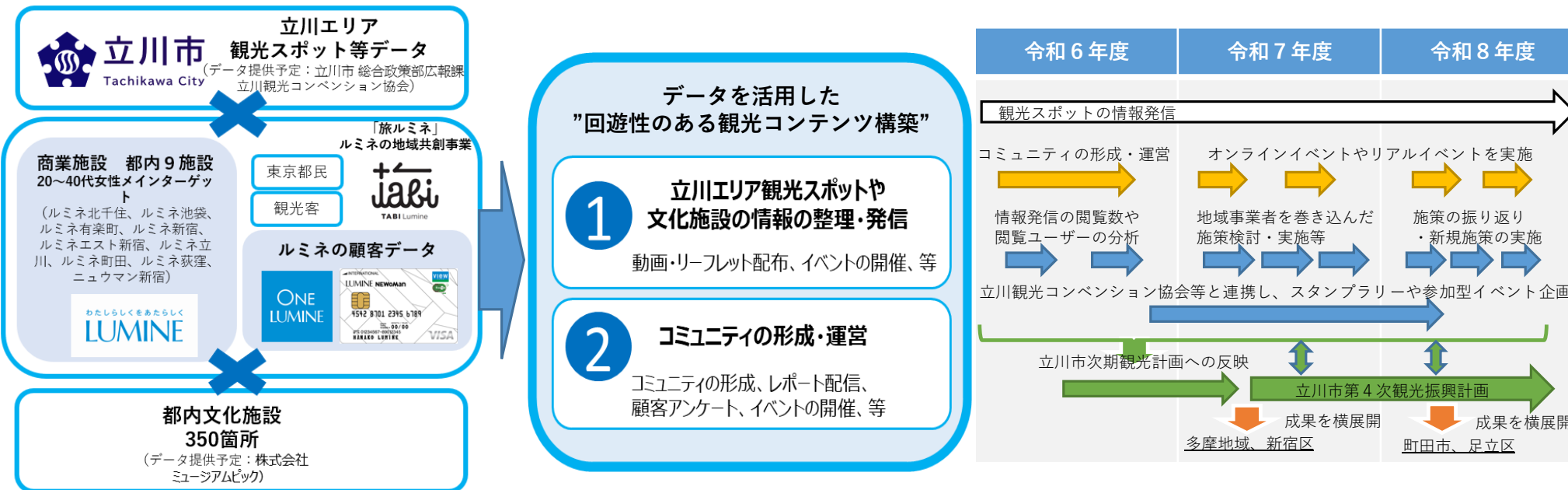
産：株式会社ルミネ  
株式会社でいたらば  
株式会社ミュージアムピック  
官：立川市

目的・概要

顧客データと文化施設データを活用することで、住民（在住者、来訪者）に対し、「**まず行きたい、まだ居たい、また行きたい M3東京**」を目指す  
**立川エリアの“回遊性のある観光コンテンツ構築”に向けた文化施設データ活用型スマート連携事業を実施**

「地域の居住者や来訪者に継続的に情報発信の機会や場を創出したい立川市」と、「展開商圈との連携強化のため、地域連携を実施したいルミネ」の双方の課題を解決できるよう、立川市の観光情報や地域情報などのデータと、ルミネやミュージアムピックの独自データやツールを活用しながら、情報発信・コミュニティの形成を行う。

取組



街の資産である観光資源・データと、消費者ニーズのデータを掛け合わせた実態に即した観光・回遊コンテンツを構築

※支援期間：交付決定の日から令和9年3月31日まで